

令和8年度 江戸川区立東葛西中学校 『特別の教科 道徳』教育全体計画

【法的根拠】  
日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法  
学習指導要領

学校の教育目標  
○自ら進んでよく学び、よく働く生徒  
○心身ともに健康で、粘り強い生徒  
○豊かな個性を育て、社会に役立つ生徒

【地域の実情】  
【学校の実情】  
【生徒の実態】  
【教師の願い】  
【保護者の願い】

本校の道徳教育の重点目標  
・自ら判断し行動し、強い意志をもって生きようとする心を育てる。  
・集団の中での規範意識や思いやりの精神など望ましい人間関係を確立させ、豊かな道徳性を養う。

各学年の指導の重点

第1学年 ○基本的な生活習慣の定着を図り、自分で考え判断し、その行動に責任をもつ。	第2学年 ○自らのよさを伸ばすとともに他者の立場を尊重し、ともに高めあう態度を育てる。	第3学年 ○広い視野をもち、何事にも最善を尽くし理想の実現を目指して自己の人生を切り開く意欲と態度を育てる。
--	--	---

各教科

国語 文字や言葉で表現したり聞き取る学習を通し伝達能力を高め、円滑な意志疎通能力を身に付け、社会性

社会 歴史・地理の学習を通し、自国の理解や国際理解に役立たせ、公民分野では公民的資質の基礎を養う。

数学 数理的解決力を育むことで問題解決能力を養い、真理を追究しようという姿勢を身に付け、遂行力を高め

理科 自然への理解を深め、自然愛護の精神を養いつつ、ものごとの科学的な認識力を高める。

音楽 豊かな情操を養い、精神の落ち着きを得る。また伝統音楽の学習を通してわが国の文化にふれ、よさを体

美術 制作を通し、想像力や遂行力を高め、鑑賞を通して美しいものに感動する心情をたがやす。

保健体育 能力に応じた課題学習を通して目的達成の前向きな態度を養う。

技術・家庭 生活に関わる体験的学習を通して、生活を充実させる方法を

外国語 言語や文化の違いの中から、国際理解の基礎力を培う。世界に

読書科 読書を通して、知識や教養を養い、心を豊かにするとともに、自己

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目

1年  
・望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図り、節度と調和のある生活をする。  
・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言語ができる生徒を育てる。  
・自分が属する集団の意義について理解を深め役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。

2年  
・自らを振り返り自己の向上を図るとともに、個性を伸ばし充実した生き方を求める生徒を育てる。  
・勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって進んでボランティア活動に参加するなど、公共の福祉と社会発展に努める。

3年  
・自立の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもてる生徒を育てる。  
・国際社会に生きる日本人としての自覚を持ち、平和な国際社会実現に貢献できる生徒を育てる

指導方針  
○各教科、特別活動、総合的な学習の時間等との関連を配慮し、それらにおける道徳教育の実践において、不足する部分を「補充」し、浅い部分を「深化」し、分散した内容を「統合」する。良質の資料を精選し、適切な授業展開を通し、一人ひとりの道徳的価値の自覚を促し、道徳的心情を養うとともに、道徳的判断力を身に付けさせ、さらに道徳的実践力を育てる。

指導の工夫  
○教科書「とびだそう未来へ」を柔軟に活用すると共に、新聞や本などから教師自らが道徳教材の開発に心がける。○各学年の道徳資料の共有化(データ化)を図り、学校の財産として活用できるよう整備する。○家庭や地域の積極的な協力を得て、人的・物的環境を活用する。

特別活動

学級活動 ○道徳教育実践の基盤は学級にあるという認識のもと、折に触れ道徳教育の実践を図る。集団生活の中で他者とかがわる力と自発的態を養う。

生徒会活動 ○生徒が自主的に集団で活動する機会・体験を多くし、自己と集団の質の向上を目指す態度を養う。

学校行事 ○集団の一員としての自覚を深め、学校生活の充実と発展に努めようとする態度を育てる。

総合的な学習の時間

○課題を見つけ、判断し、解決する能力や態度を育てる。  
○学び方や、ものの考え方を身に付け、問題解決や探求活動を通し自己の生き方を考えることができる

生活指導  
・基本的な生活習慣の育成・環境づくりを推進する中で、豊かな人間性を育成する。「みそあじ運動」の推進

環境整備  
・環境づくりの推進  
・清掃活動の充実  
・掲示活動の充実

家庭・地域との連携  
・家庭・地域社会と緊密な連携を保ち、日常生活に即した指導に努める。・学校・学年だよりなどの発行や授業公開を通して、家庭や地域の理解を深めるよう努める。

推進体制  
・道徳教育推進教師を中心に教育活動全体を通して人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を養う。